

II 事例研究

1 地域のネットワークでつくる活動事例

子どもたちの読書が3倍になった ～鹿沼図書館ボランティア(KLV(カリブー))の取組～

鹿沼市内の全小中学校の学校図書館を活動拠点に、約300名の会員が本の補修、読み聞かせなど、7分野16種類の活動を展開中
関わっている人<幼児、小学生、中学生、成人>



☆活動名 子どもたちに本との出会いのときめきを～まちが支える学校図書館

【活動の趣旨】 「本が好きな子」を育てるために、先生と保護者、地域住民が一体となって学校図書館を拠点に、各学校ごとに特性を生かした様々な活動をしている。

【共催、連携】

- 鹿沼市教育委員会・市立図書館及び市内小中学校
- 活動施設 31施設（市内学校図書館等）
- 街角ライブラリー開設施設 52施設（銀行等）

【対象・人数・条件】

- 市内小中学校全児童・生徒 約 8,600人
- 市内全住民 約94,000人 読み聞かせの様子

【始めるきっかけ】 小中学校では、常時、司書の先生がいるわけではないため、子どもたちは本への興味をあまり持たず、学校図書館はどちらかというと人気のないさびしい部屋になっていた。そんな現状に、一人の母親が「子どもたちを学校図書館に呼び戻そう」という提案をした。それを教育委員会が受け入れ、仲間づくりを全面的に支援して、1991年に22人のメンバーがKLV協会を発足させた。

【広報のしかた】 募集は、市の広報誌、市立図書館、各小中学校、そして会員の口コミを通じて行っている。さらに、KLV協会のホームページがあり、その中でも広報している。

【活動内容】 ①地域図書関連施設の管理運営
主に学校図書館を活動拠点としているが、活動内容は地域性を生かし、各施設ごとに異なっている。その活動は、新刊本受け入れ・配架・補修・廃棄から、読み聞かせなどの読書普及活動。図書館利用指導、発展教材の読書指導、調べ学習などの授業支援。読書啓発の掲示物づくり、KLV通信発行などの読書環境づくり等、全体では7分野16種類の活動を行っている。

②KLV・Jr(カリブー・ジュニア)(中学生・高校生の図書館ボランティア)の活動
中学生の読書離れをくいとめるために、中学生に読み聞かせをさせることで、中学生を本好きにしようというのが、KLV・Jr誕生のきっかけである。

平成16年度の会員は7人。活動内容は、保育園・幼稚園・地域のコミュニティ等での読み聞

かせなどの読書普及活動を中心に行っている。

③部会活動（K L Vネットワーク形成とK L V活動の啓発・広報）

施設を越えた、会員同士のネットワーク形成と活動の広報のために、以下の8つの部会活動を行っている。

ア. 養成講座基礎部会 イ. 養成講座実践部会 ウ. 養成講座専門部会 エ. 広報部会
オ. ティーサロン部会 カ. 読み聞かせ部会 キ. エブロン部会 ク. 街角ライブラリー部会

【成果と課題】

毎学期1回をめやすに学校図書館運営委員会が開かれ、学校とK L Vの意見調整が図られ、学校とK L Vはお互いに「NO」といえる関係にある。その関係がお互いにより考えを出し合う環境をつくり、本好きの子どもを増やしている。

今後は、柔軟な発想で、時間をかけて、自分たちにできることを探していきたい。

☆これから始める人へのメッセージ

やわらかい心で ~できることを、できる人が、できるときに、できるだけ、ちょっとだけ背伸びして~

K L V(カリブー) (鹿沼図書館ボランティア) 協会

代表者 福井 公美子

所在地 〒322-0064

鹿沼市文化橋町 1982-18 鹿沼市民情報センター団体情報室

電話/FAX 0289-60-3113/0289-60-3116

U R L <http://www.geocities.jp/tksasakiyah/>

